

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 ジフェニルエーテルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号 No. 2004-生66

試験法ガイドライン

本試験は、厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長、環境省総合環境政策局長連名通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」(薬食発第 1121002 号、平成15・11・13 製局第 2 号、環境企発第 031121002 号、平成 15 年 11 月 21 日)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質 : ジフェニルエーテル
- 2) 暴露方式 : 止水式
- 3) 供試生物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間 : 48 時間
- 5) 試験濃度(設定値) : 対照区, 0.48, 0.80, 1.5, 2.0, 2.6, 4.8 mg/L
公比; 1.8(ただし、1.5, 2.0, 2.6 mg/Lは公比 1.3)
- 6) 試験溶液量 : 100 mL/容器
- 7) 連数 : 4 容器/試験区
- 8) 供試生物数 : 20 頭/試験区 (5 頭/容器)
- 9) 試験温度 : 20±1 °C
- 10) 照明 : 室内光、16 時間明/8 時間暗
- 11) 給餌 : 無給餌
- 12) pH : 試験溶液の pH調整は行わない
- 13) 分析法 : HPLC 法

結 果

1) 試験溶液中の被験物質濃度

被験物質の濃度は揮散による濃度減少と考えられたことから、暴露開始時および暴露終了時の測定値を用いて幾何平均値を求め、各影響濃度を算出した。

2) 24 時間暴露後の結果

50 % 遊泳阻害濃度 (EC_{50}) : 2.92 mg/L (95%信頼限界 : 2.59 ~ 3.42 mg/L), Logit
0 % 阻害最高濃度 : 0.76 mg/L
100 % 阻害最低濃度 : >4.06 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

50 % 遊泳阻害濃度 (EC_{50}) : 1.96 mg/L (95%信頼限界 : 1.74 ~ 2.21 mg/L), Logit
0 % 阻害最高濃度 : 0.76 mg/L
100 % 阻害最低濃度 : 4.06 mg/L